

宇宙政策セミナー
(2013/9/30)

宇宙利用の拡大にのぞむ

秋葉 鏖二郎 (HASTIC)

留意事項

- 自由な民間活動

- 既存の評価を控える
- 試行錯誤に価値がある・・・地域から目覚める
- 需要の拡大に期待

- 宇宙輸送の革新・・・足元を固めよう

- 現状の限界・・・費用、頻度、輸送量、信頼性、環境問題
- 輸送形態の変革・・・軌道上組立
- 空中(航空機、気球から)発射・・・スペースポートが必要

- 人間の活動空間を3次元へ

- 航空と宇宙の融合

- 宇宙産業は知識産業

- 新時代人材育成の適地、北海道

イプシロン



IAC 2013 Beijing



軌道上組立で宇宙活動を変える

- 貨物の規格化(コンテナ輸送)

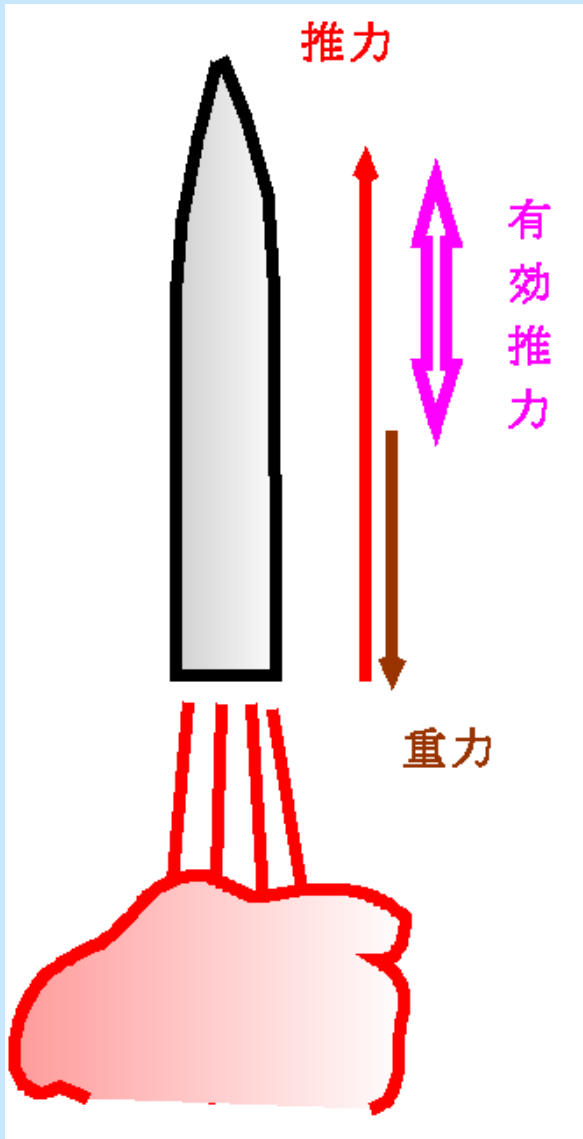
- 費用減

費用: 素材 < 部品 < コンポーネント < サブシステム

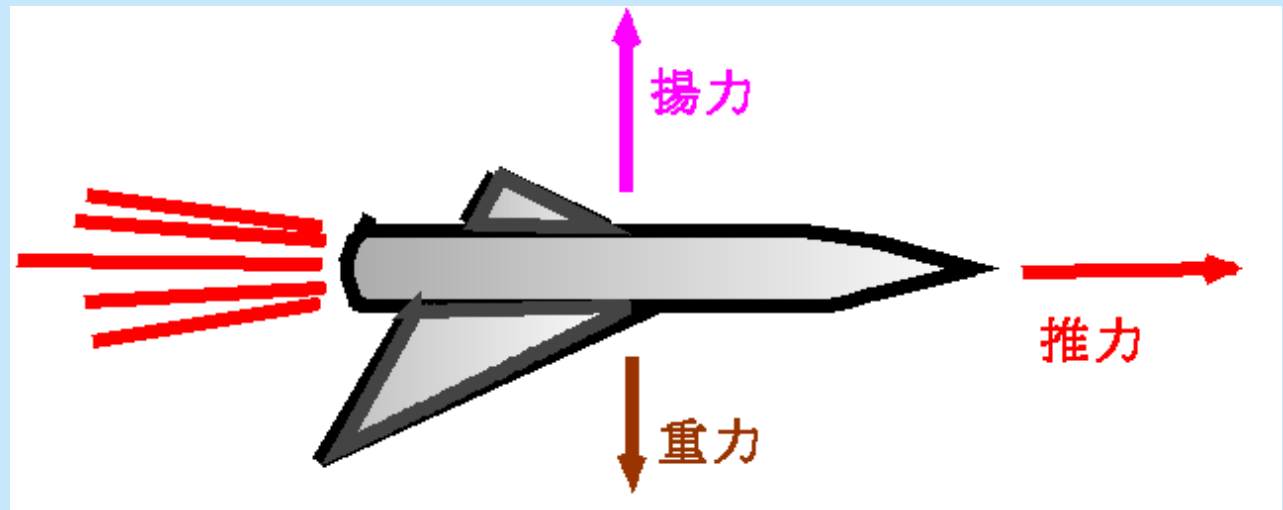
- 構造質量が少なくてすむ
- 軌道上で修理できる
- 最終点検が軌道環境でできる

今から始められる!

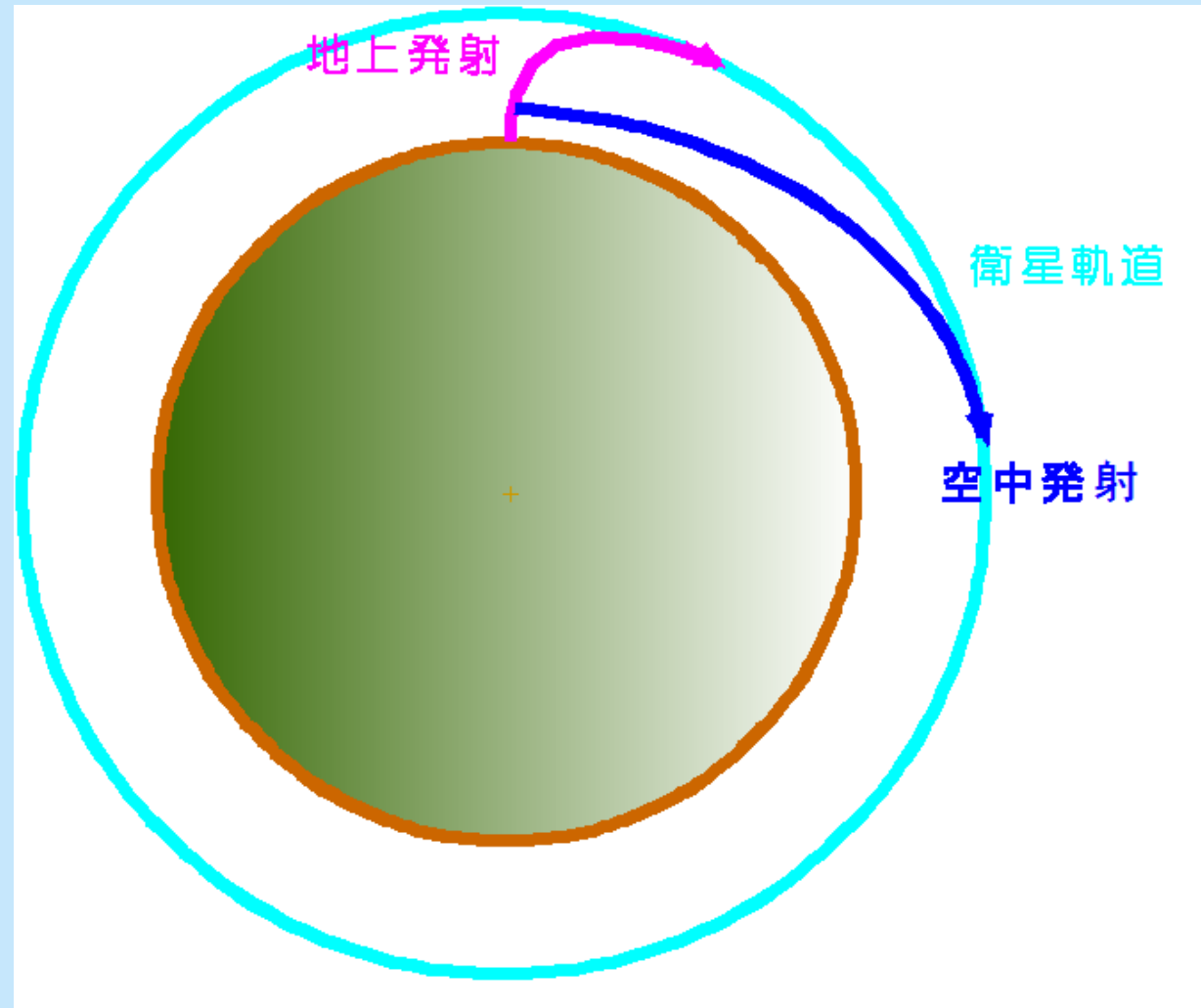
垂直発射は損



空中発射



打ち上げ軌道の比較



空中発射の利点

- 空気抗力が減る
 - 初速がある
 - 比推力が増す
 - 重力損失が減る
 - 事故発生時の対策に有利
 - 気象条件の選択自由度が増す
 - 保安距離を大きくとれる
 - 多くの地上規制から解放
 - 打ち上げ回数を増やせる → 桁違いの輸送量
- 打ち上げ能力倍増！

結び

- 自由な民間活動
- 宇宙輸送の革新・・・足元を固めよう
大樹町にスペースポートを造ろう
- 人間の活動空間を3次元へ
空間の開放を
- 宇宙産業は知識(能)産業
北海道に研究開発の拠点を造ろう
- 国際関係が平和であって、はじめて宇宙利用の
拡大が望める